



藤倉英幸《黒岳一雲の平から》2016年 当館蔵



# 北海道の山と花。 坂本直行・鮫島惇一郎とともに。

藤倉英幸[1948年-]は、北海道の四季に彩りを添える草や花を自身の風景画に描きこみ、豊かな自然に満ちあふれた北海道を作品として表現してきました。また藤倉は高校生の頃から登山に親しんで道内各地の山々を巡り、そこで目の当たりにした雄大な景観を作品として発表しています。坂本直行[1906-82年]は13歳の時、当館からその雄大な姿を望むことができる羊蹄山に登頂したのをきっかけとして、山の絵を描きはじめます。その後、北海道広尾町において農地開拓に従事するかたわら、山や草花の絵を描き、後に画業に専念します。その作品は、六花亭の包装紙などで広く知られています。鮫島惇一郎[1926年-]は、少年時代、恩師の影響から植物に興味を持ち、そのスケッチをはじめます。大学卒業後は研究者として植物に接するとともに、緻密な植物画を今に至るまで多く描いてきました。実は、このお三方には「三角関係」ともいえる、いくつかの共通項や交友関係があります。六花亭の商品パッケージに原画を提供している藤倉と坂本、山を歩き、描く同人が結集した「歩々の会」などで親交を深めた坂本と鮫島、藤倉の作品がきっかけで直接の交友関係を持つ鮫島と藤倉。なによりの共通項は三者三様に絵筆を握り、北海道の山や草花を作品にしていることです。本展では、北海道の自然と対峙して作品を描いてきた三人の縁が織りなす「三角関係」を軸に、それぞれの視点から描かれた北海道の山々や草花を描いた作品、植物画、スケッチ帳を一同に展示します。そこでは三者の活動をはじめ、北海道の山々や豊かな自然についても理解を深めていただけるのではないのでしょうか。なお本展の藤倉作品は開催時期に合わせ、夏から秋にかけての作品を多く展示します。また、坂本作品はスケッチブックのページを、鮫島作品は展示作品の入れ替えを適宜行います。

## 〈作家略歴〉

### 藤倉英幸

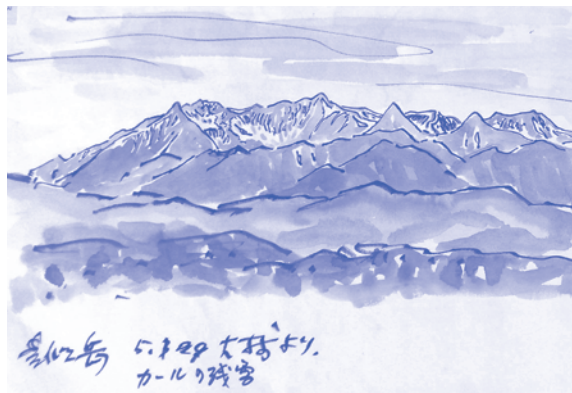
1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。74年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは本格的に「貼り絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとする。JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙画などで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』(2013年、共同文化社)など画集多数。

### 鮫島惇一郎

1926年、東京市(現・東京都)生まれ。幼い頃、札幌に移り住む。50年、北海道大学理学部植物学科卒業。同大理学部助手などを経て、56年、林野庁に。農林省林業試験場北海道支場育種研究室に勤務し、85年退職。現在は「自然環境研究室」を主宰し、自然観察や自然環境保護などについて講演や執筆活動等を行う。『札幌から見える山』(81年、北海道大学図書刊行会)、『新版北海道の花』(77年、同)、『原色図譜エンレイソウ属植物』(87年、同)など著作多数。

### 坂本直行

1906年、北海道釧路生まれ。北海道帝国大学(現・北海道大学)在学中は山岳部員として活動。27年、大学卒業後は東京にて園芸に従事。29年に北海道に戻り、翌年から広尾町にて牧場を共同経営。36年には同町内にて開拓生活に入る。その生活の中で日高の山々や草花を描き続ける。65年、札幌に移住し、画業に専念する。82年没。『開墾の記』(42年、長崎書店)、『原野から見た山』(57年、朋文堂)、『雪原の足あと』(65年、茗葉堂)、『わたしの草と木の絵本』(76年、茗葉堂)など画文集多数。



坂本直行《豊似岳》(スケッチブックより)1963年 北大山岳館蔵

## 〈関連イベント〉

### 鮫島惇一郎&藤倉英幸講演会

鮫島惇一郎「山と花と人」  
藤倉英幸「山登りの思い出など」  
[日時] 7月28日(土) 13:00開始(3時間程度)  
[講師] 鮫島惇一郎(自然環境研究室主宰)、  
藤倉英幸(イラストレーター)  
参加無料

### 有島記念館周辺の植物を使った草木染体験

有島記念館周辺に繁茂する植物を使った草木染を体験できます。  
[日時] 7月29日(日) 13:00開始(3時間程度)  
[講師] 田中富美江(自然ガイド)  
参加無料  
要申込(0136-44-3245) 定員10人

## 〈会期中のイベント〉

7月30日(月):脳科学者・茂木健一郎講演&コンサート  
8月10日(金):野瀬栄進ジャズピアノコンサート  
8月25日(土):能登谷安紀子ヴァイオリンリサイタル  
9月1日(土):しりべしミュージアムロードコンサート(主催:道銀文化財団 ほか)  
9月9日(日):札幌コグーイ合唱団コンサート  
9月22日(土):永田砂智子波紋音ライブ  
10月7日(日):明楽みゆきチェンパロコンサート

## 〔交通アクセス〕

自家用車 ▶ 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
J R ▶ ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分  
バ ス ▶ 道南バス(倶知安駅発)「有島記念館前」下車徒歩5分  
〔駐車場〕 自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

## ニセコ町・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245